

どっこい生きてます!



しおさい寺子屋食堂「たんぽぽ」

(4~5ページに記事)

2020

12

潮騒ジョブトレーニングセンターの 就労継続支援



NPO法人・潮騒ジョブトレーニングセンターを特徴づける活動の一つが、大規模農家も顔負けの水田や畑などで構成する潮騒農場と連携した異色の食堂「おらげのかまど」(就労継続支援B型事業所)と、「しおさい寺子屋食堂“たんぼぼ”」(同)の自主運営です。ともに基本は一般向け食堂ですが、独自の形で就労支援にも力を入れています。「薬物やアルコール依存症の人たちが食堂なんてやれるの?」という世間の根強い偏見と世評をくつがえし、少しずつ地元根を張って当事者たちにも大きな励みになっています。その活動取材しました。

自給自足をモットーにする栗原センター長の肝いりで、今年10周年を迎えた潮騒JTCでは早くから依存症入寮者の就労支援事業を手掛け、その柱となっているのが福祉農業への取り組みです。地域の支援者の皆さんの手助けを得て潮騒農場を自主運営して久しいですが、干し芋など人気の農産物の加工と販売を手がけると同時に、採れたての新鮮野菜などを食堂で有効利用して入寮者の健康増進に役立っています。「かまど」と「たんぼぼ」は同じ建物内の1階と2階で構成し、鹿嶋市役所前(同市鉢形)という好立地にあり、地域貢献の意味からも地元の食堂としても人気を得るようになり、施設の知名度アップや活性化にもつながっています。

利用者ニーズの高まりで「おらげのかまど」は店内が手狭になってきたこともあり、改装工事を経て今年1月にはリニューアルオープン、店内の設備を充実させました。その効果もあって昼時の店内はランチを食べに来るお客さんでいっぱいでしたが、その数か月後には予期せぬコロナ禍の困難に見舞われ、他の飲食店と同じように「かま

ど」も客足が遠のきました。そうした困難を乗り越えようとテイクアウトにも力を入れ、店頭での弁当販売も頑張ってきました。ここにきて「かまど」は通常営業の形に戻ることができましたが、今も苦しい状況は続いています。

引き続きメンバーはそれぞれ役割分担して、施設内や外部からの注文を受けて、何百ものお弁当作りをこなし、みんな真剣に忙しく働いています。作業をしている入寮者は14人で、かまどの近くのアパートで共同生活をしている男性入寮者と、女性ハウス「るみの家」から数名の女性が働きに来ています。

傘下の関連施設である、しおさいデイケアや農業隊、百寿(高齢者介護サービス)のほか、近隣にあるデイサービス施設「母里(もり)」、県立鹿島灘高等学校夜間部の給食(夕食)などにもお弁当を作るので、メンバーは汗だくの日々です。

このうち鹿島灘高等学校夜間部には、現在も4人の入寮者が通っています。栗原センター長も、自身が苦労して卒業した学校なので特に思い入れが深いようです。高校の給食は、栄養士の方がメニューを考え、それに則って作らなければならないので、苦労が多いようで



おらげのかまどスタッフの松岡さん(左)と責任者のミカさん(右)



職員の谷本さん

す。ハードルの高い条件をクリアして受注できたことはメンバーの自信になり、センター長が「ぜひ提供したい」というので、メンバー一同頑張って作っています。

コロナ禍の困難を乗り切ってきた“かまど”責任者のミカさんは「入寮者の就労支援にも力を入れています。嬉しいことに、かまどで2年間働いているマコさんは今年調理師免許を取りました。来年も誰か取らせてあげたい。そうすれば本人たちの自信につながるの…」と話してくれました。給食センターの経験のある職員の谷本さんがメニューやカロリー面などで実務指導にあたり、「みんな嫌な顔一つしないで、忙しいのによく働いてくれています」「入寮者は世間とは異なり、自由が制限されているなかで暮らしているので食べることにくらいしか楽しみがないのが現実です。なので量も多く、美味しいメニューを毎日考えています」と潮騒食堂の意義を強調していました。

管理者のマコトさんは「作業所で働く仲間にはサービス管理責任者の資格を取得させたいです。そういう意欲ある仲間には、いずれはリーダーになってもらい、潮騒での雇用にまでつなげて社会復帰させたい」と夢を広

げています。

一方、同じ店舗建物の2階にある「たんぼぼ」リーダーのみずきさんは「この子供食堂は元々、長い不況下で一番割を食っている地元の貧しい子供たちや孤食の高齢者のために始めた事業です。整った調理場やミニイベントが開ける開放的なフロアが特徴です。ただ情報が届けにくい困難さも手伝って、少なかった利用者がコロナ禍でもっと減り、運営面ではとても大変です。でも、潮騒と付き合いのある地元保育園の方の助けを借りて“日めくりカレンダー作り”というイベントをやってみたところ、手応えを得ました。さらにベビーマッサージ、パン作り教室などのワークショップを開催すると、これに集い合うママたちがイベント後にかまどのランチをみんなで食べてくれるようになりました。だんだん口コミで繁盛していった感じです」とコロナ禍での苦労を明かしました。

その上で、「まだ若い子どもたちをスタッフ(女性ハウスのクマさんや、保育士の資格を持つスタッフ)が見てくれて、その間にゆっくり楽しくママたちはランチを楽しむ、というスタイルに定着してきました。それに合わ



寺子屋食堂たんぼぼのリーダーみずきさん(左)と管理者のまことさん

せて、子供用椅子、ベビーフェンス、授乳室、よだれかけ、赤ちゃん用食器、キッズスペース、ベビーベッドなどを徐々にそろえました。この11、12月はほぼ毎日予約で埋まるまでになっています」とやりがいを感じてうれしそう。

若いころは人一倍“やんちゃ人生”を歩んで、自分自身「子育て面では反省しかない」とする栗原センター長は、「こんなご時世なので私たちの苦労がなかなか報われず苦戦が続いています。曲折はあったものの、今は地域の潜在ニーズを反映して、小さな子供をもつママたちの息抜きの場として繁盛しているようです。本来の目的からは形が変わってきたけれど、地域貢献活動の一つとしてできるだけ続けていきたい。こうした潮騒独自のスタイルでの少子化、子育て支援のチャレンジもあっていいのでは？ もちろん本来の子供の飢え、高齢者の孤食をなくす目的も果たしたいので、今後も関係機関に働きかけていきたいですね」と力を込めてくれました。

そういえば取材した日も大人9人、子供(3ヶ月～3歳ぐらい)10人が利用していました。頑張れ、しおさい寺子屋食堂「たんぽぽ」！



【就労継続支援B型】

障害者総合支援法に基づく福祉サービスのひとつ。会社などに雇用されることが困難な障害者に就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、それらの知識と能力向上のために必要な訓練を行う事業。雇用契約を結び利用する「A型」と雇用契約を結ばないで利用する「B型」の2種類がある。B型は年齢制限はなく、障害や体調に合わせて自分のペースで働くことができ、就労に関する能力の向上が期待できる。事業所と雇用契約を結ばないため、賃金ではなく生産物に対する成果報酬の「工賃」が支払われる。厚生労働省の社会福祉施設等調査によると、B型事業所は2016年時点で1万214事業所あり、利用者は25万2597人。



しおさい寺子屋食堂

たんぽぽ

しおさい寺子屋食堂「たんぽぽ」のイベントの様子と、
利用してくれるママたちの感想文です。

英語で遊ぼう ハロウィンパーティ



料理が毎回
美味すぎ！



これからも
利用したい



ベビーマッサージ



保育士さんが
気さく!



アットホームで
行きやすい!

たんぼぼさんの
スタッフさんは皆子供達にも一生懸命ですごい親切で私達ママさん達にとってすごい居心地のよいところです! このような場所があることを知って本当に良かったと思います! これからも利用していきたいと思います! 是非地域の方に広まって欲しいです!



パン教室



ゆっくりご飯を食べたい、
お友達とゆっくりお話がしたい、
お茶したい…
そんなお店が理想でした。
子連れでの外出は
お母さんにとって難関…ですが、
そんな悩みを解決してくれるのが
たんぼぼさんです。
一人の時間が欲しい時も、
保育士の方がいるので
安心して預けられます。



「るみの家」めいの 回復(途上)物語

こんな私でも 変われると信じて…

vol.7

ルミさんの涙で前向きになるも 4度目の脱走



「みんな、お願いだから この子を受け入れて！」

相変わらず私の生活態度は改まらず、買い物の時に洋服屋さんで自分の服を置いて商品を着て帰ったり、仲間の物を平気で盗んだり、リストカットもしました。みんな呆(あき)れ、冷たくなっていくのが分かりました。だんだん私は孤立し、独りぼっちになっていました。3度目の脱走の後、私の居場所はありませんでした。みんなは私を

受け入れられないと言い、私がいるなら施設を出て行くと言う仲間もいました。

とうとう私は部屋から出て行けなくなり、ミーティングを拒否。その時ルミさんが部屋に乗り込んできました。今度はどんな言葉を突きつけられるのかと身構えていたら、ルミさんは私を引っ張り出し、3階のフロアまで連れて行き、大声でみんなを集めました。「みんな、お願いだからこの子を受け入れてくれ！この子は行くところがないんだよ、頼むよ！」。ルミさんは泣いていました。ルミさんを泣かせてしまったその時、私は初めて「変わりたい！」と思いました。

摂食障害についてもやめたいと思っていなかった私に、ルミさんが「あんた、吐くの止めれば？私達だって酒とか薬とかやめてるのに、あんたはやめないの？吐くのだって立派なスリップじゃん」と言ってきました。それまでは反抗心ばかりの私でしたが、何故か「やめてみようかな…」と思えました。実際少しずつ吐かない日が続けられるようになっていきました。

13 ステップも、 男性に捨てられる

ルミさんの涙で前向きな意識が芽生えたかに見えた私でしたが、でも私の病気はそんなに簡単なものではありませんでした。それまでより少しだけクリーンが続いた頃、私はエイサー仲間の男性と13ステップ(注：男女関係への逃避)をしていました。

喫煙所で密かに話す程度だったのに欲が出てきて、その男性に頼んで携帯電話を買ってもらい、こっそり連絡を取りました。クリスマスプレゼントをもらったり、色々買ってもらっていました。しかも1回目に13ステップした男性と二股を掛けていました。ほんとに最低な私です。

そしてそれがバレて、どうしようもなくなった私は、なんと4度目の脱走。しかもミーティング中に、トイレに行くふりをしてそのままバックレてしまいました。小雨の降る中ひたすら歩き、相手の男性に電話をして迎えに来てもらい、そのまま2人で他県まで行きました。3日目の朝、男性の携帯にルミさんからメールが届きました。怒りのメールでした。

私は迷っていました。でも引くに引けない状況でした。男性と駅まで行き、そこからその男性の実家まで行く予定だったのですが、男性は「近くの友達の前に行って来るから、ここで待ってて」と言い残し、私に1000円を渡し走り去ってしまいました。男性は、そのまま帰って来ませんでした。私は捨てられました。(次号につづく)

受刑者 からの手紙

「受刑者の手紙」は本来は公開されることを前提としていない私信ですが、当事者の本音が書かれており、依存症回復の第1歩である「自分に正直になること」を示す手本です。プライバシーに配慮し、掲載させていただいています。

出所後は潮騒ジョブで仲間たちと回復を目指したい

師走になり、なにかとご多忙と思われそうですが、毎日ご苦労様です。今年一年も色々ありました。一番問題なのはコロナ感染でしょう。そういえば茨城もだいぶ増えて1500人を超えて、死者21人となりました。当所においても先日、刑務官の方で感染者が一人出ました。不安もありますが、私たちにできる対策は指導・指示をよく守り、手洗いうがい、そして三密をしない事です。この先どのようになるのか心配ですが、よくなってくれることを祈るばかりです。

最近、作業での間違い(ミス)が感じられます。年のせいだと思います。気持ちは若くとも脳や身体は正直なもので、自分も老いたのだなあと思うつくづく思います。年は取りたくないですが、こればかりは…。私は眠剤(睡眠導入剤)を飲んでいたのですが、半年前にやめて頑張っています。でも、間違いがあるのはやっぱり老いたのですかね。

もう刑務所はイヤです。出所後は潮騒ジョブで仲間たちと回復を目指し、薬物と手を切り、頑張っていこうと思っています。実現するのは自分自身です。栗原センター長、今私は一年無事故賞をつけていますが、とりあえず当所での一年クリアはできました。同じように薬物に手を出さず、潮騒でのクリアが出来ることを望んでいます。これから先、今日一日(使わない)の言葉を肝に銘じて頑張ります。

追伸 現在、読み終わった本が20冊くらいあるのですが、センター長へ郵送宅下げしたいと思っています。出来ましたら、ビレッジ会館3階のデйкаア内にて備え付けの本があると思うのですが、私の贈った本を仲間たちに見てもらい、デйкаアの本棚へ置いてほしいのです。どうか宜しくお願いします。

(東京都 Tさん)

今年はコロナで始まりコロナで終わった1年だった

返信ありがとうございます。荷物は年が明けたら送ろうと考えていますので、お手数ですが保管お願いします。ところで、コロナは大丈夫ですか。当地は第三波がひどく、刑務所内でも職員が感染し、2週間ほとんどの工場がストップしました。シゲさんも神野ハウスの長として感染対策など色々大変だとは思いますが、身体に気を付けて下さいね。私も気を付けます。

師走に入り、今年も残り一カ月を切りました。今年はコロナで始まり、コロナで終わった一年だったと思います。来年はセンター長はじめ、センターの皆様の一つでも良い事が多い一年になるように祈っています。

追伸 以前に送って頂いたダルクの本を読んでいて一つ疑問に思ったのですが、ダルクによっては満期釈放の方しか受け付けないダルクもあると書いてありました。正直、今の私の目標は一日でも早く社会に復帰することをモチベーションに日々頑張っているのですが、潮騒JTCの受け入れはどのようなのでしょうか。仮釈放でお世話になることは可能なのでしょうか。満期出所であれば、今の目標を変えないといけないので、ぜひ教えて頂けると嬉しいです。

(北海道 Sさん)

しおさい俳壇

12月のお題 クリスマス

選者 桐本石見

特選句

回復の
贈り物待つクリスマス

のん

クリスマスの贈り物の謂れは、キリストの降誕を祝い東方の三博士のメルキオールは黄金、カスパーは没薬、バルタザールは乳香を贈ったのが始まりと言う。怪我や心の病も挑戦する気力と神の恵みが合さって回復する。俳諧の少し哀れを籠めた句です。

特選句

北国に
来て白の中クリスマス

ゆーみん

クリスマスはキリストの降誕を祝う行事だが、今では商業的にもなり賑やかになった。この頃は北国では雪も降りその中のクリスマスはロマンを誘う。子供はプレゼント、若者には恋を思う句です。

特選句

百窓に
百の苦しみ冬の獄

ゆたか

人類は宇宙へ行く程の文明文化を手にしたが戦争や犯罪は克服出来ていない。また日本には百八十余の刑務所があり多くの人が罪に苦しむ。遠くから眺める刑務所の窓も冬の薄日に寒々として哀れを誘う句で早かな更生を祈りたい。

今月の秀逸句

秀逸句

聖夜の灯
二人で見たいね泣けるほど

しま

今ではクリスマスが近づくとも家庭でもツリーを飾るが殊に最近では発光ダイオードの発達で銀座や神戸なイルミネーションが美しい。その灯に染まりながら泣けるほど眺めるのもロマンを思う句です。

子供らの
夢や望みやクリスマス

タイチ

クリスマスは本来はキリストの生誕を祝うが、子供達にはプレゼントが待ち遠しい、子供や若者の特権の一つは希望や夢でもある。実物の贈り物と共に志も大きく育てて欲しいと思う。

サンタさん
煙突探しに郊外へ

ヒロ

四世紀頃東ローマのニコラオス神父が貧しい家の娘らを助けるため煙突から金貨を投げ入れた逸話が今のサンタの元と言われる。現代は暖房

方式も変り暖炉は別荘地なども。工場の煙突は絵にならず、探すのに苦勞する俳諧の面白い句です。

クリスマス

手編みのセーター思い出す

シゲ

プレゼントの思い出か。昔は中・高校生にもなると電車の中でも手編みをするのを見掛け貰う人を羨ましく思った。若き日の胸熱くなる句。

小包を

母に贈らむクリスマス

アベ

クリスマスの贈り物は父母から子供へ恋人同士などが一般的だが、母へ贈るのは格別。今ではお年玉を子供から貰うのがあるが嬉しく心が温む微笑ましい句。

思い出の

イルミネーションクリスマス

くま

何処のイルミネーションだろうか。今では街や道路、公園でも飾るが若い日に見たのは懐かしい。殊に銀座、丸の内、六本木、神戸などは心に残るロマンを誘う句です。

佳作

淡雪の暮ゆく町やクリスマス	レモン	幸来るか雪降る中のクリスマス	ニモ
雪舞ふや寄り添ひ眺むイブの夜	みく	プレゼント待つも楽しみクリスマス	フッキー
子等も寝よサンタが来るよ雪の中	いるか	サンタ待つ子等が早や寝てクリスマス	ちあき
期待する何ぞサンタのプレゼント	なん	クリスマス眠りて夢に雪景色	ミヤ
讃美歌の聞こゆラジオやクリスマス	チャコ	子等は寝て夢の中にもサンタ待つ	めい
コロナ禍や家に籠りのクリスマス	オノ	クリスマス夜の帳に雪景色	シンちゃん
夜の雪も天使と思ふクリスマス	れいこ	北風に巡るサンタもご苦労ね	ユキ
クリスマス子の日のサンタなほ信じ	あっちゃん	クリスマスイヤホーン貰ふ嬉しさよ	あべ
サンタ負ふ袋の中の夢数多	ブッチ	苦しみの酒断ち祝ふクリスマス	モト
サンタ来る更けて野風の寒さかな	ヒラ	懐かしや祖父がサンタのクリスマス	ひーちゃん
クリスマス今もサンタを待ち望む	マコ	馬小屋に産声ありと聖夜かな	えび
クリスマス子等と囲みしケーキかな	あきら	クリスマス暮ていよいよ雪景色	ミニー
クリスマス寿司にチキンにケーキもね	みっちゃん		

俳句へのいざない

第十一回 釣りと料理

私の子供の頃は今の様に TV やアイホンなどないので、遊びの一つに釣りがあった。幸いに川も海も近くにあり、先輩や大人に習い川では鰻、鮠(はや)、蟹、海老など、海では栄螺(さざえ)、鮑(あわび)、蛸、磯魚など獲った。そしてさしたる料理も出来ないもので焼いて醤油を付けて食べた。

それから何十年の後定年を迎えた今でも子供の頃を思い出して釣りに出掛ける。年金生活なので船釣りはしないが堤防から、鱈(きす)、石持、鰯、鯖、時には鰯(ひらめ)、鰯(かれい)、アイナメなど釣れる。そしてネットの料理法を参考に手料理で食べるが新鮮なので結構美味しい。

料理は高級料亭から家庭料理まであり、調味料や捌き方次第で多に味も変わるが、食材の本来の味は余り手や調味料を使わないのが良いと思う。思い返せば中学生の頃、磯辺で焼いた栄螺や魚の味が本当の味と思う。

また俳句も歳時記や解説書は参考にはすれど、自分の目で見たり経験した事を詠んで、そして自分の感想や思い発見を少したどしくも一句として発表して戴きたいと思います。自分で釣った魚は自分の手料理で調味料も少しの方が本来の季語や食材の味で心も籠ります。

12月のバースデー

クニマツ



ZOO ZOO 🐼

ジェイ



釣り命。。
健やかに

ヒカル



ありがとうございます。

ター



劇的に回復した仲間です。

アベ



寒さに負けないで
元気でいよう!

タダエ



皆と仲良く、
長生きしたいです。

シズ



早く願いが
叶いますように。

オトウ



〇〇したい♥

スミオ



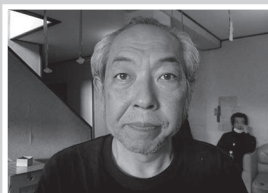
長生きしたい。

クー



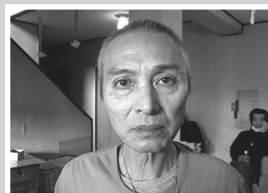
速い8ヶ月でした。

ロッキー



速く退寮したいです。

ワイ



師走で忙しいけれど
頑張ろう

トク



ありがとございます。

エン



40 才になりました。
トホホ



事務局からのお知らせ

本誌を定期的に購読することをご希望の方はぜひ「定期購読会員」のご登録をお願いいたします。私たちは、生きづらさを感じている方やそのご家族・支援者の方々、そして地域の方々に、当法人の取り組みや「依存」との向き合い方を伝えたいという思いで潮騒通信『どっこい生きてます』を発行しています。1人でも多くの方の手に届くことを願っております。

問い合わせ先

購読会員登録係 **0299-77-9099**

購読会員を
募集
しています



12月の行事

- 12月2日 水戸保護観察所スマーブ
- 12月10日 潮騒俳句会
- 12月18日 美空野保育園イベント(エイサー演舞)

1月の行事予定

- 1月4日 初顔合わせ
- 1月6日 水戸保護観察所スマーブ
- 1月14日 潮騒俳句会
- 1月16日 条件反射制御法研修会

感染予防対策を徹底して行います。状況に応じて中止や延期になる場合があります。



献金・献品を頂いた方(12月15日現在)

・ 志賀 様 ・ 山本 様 ・ 大浜 様 ・ 竹中 様

今月も献金・献品をいただきました。心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。おかげさまで潮騒JTCは、回復のためのプログラムを実践することができておりますことをご報告いたします。今後ともご支援くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

※その他匿名の皆様からも献品・献金をいただきました。ありがとうございました。

※発送作業簡略化のため、振込取扱票は全員の方に同封させていただいております。どうぞご理解のほどをお願いします。

潮騒通信 どっこい生きてます! 2020年12月号

Contents

P② 潮騒ジョブトレーニングセンターの 就労継続支援

P⑥ 「るみの家」めいの回復(途上)物語

P⑦ 受刑者からの手紙

P⑧ しおさい俳壇 12月のお題「クリスマス」

P⑩ 12月のバースデイ

P⑪ 行事予定 / 献金・献品 / 目次



■ 編集・発行： 特定非営利活動法人 潮騒ジョブトレーニングセンター
理事長：栗原 豊

本 部：〒314-0006 茨城県鹿嶋市宮津台 210 番地 10

事務局：〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中 4 丁目 4-5

潮騒アディクションビレッジ会館 4 階

TEL:0299-77-9099 FAX:0299-77-9091

E-メール siosai2010@yahoo.co.jp

ホームページ <http://shiosaidarc.com/>

